

令和6年度 音楽科 教育指導計画

(1) 科目の配当・分担表 (講師：*)

学 年	科 目	担当者
1 年	音 楽	古川 裕介・米谷 優*
2 年	音 楽	藤原 愛香*
3 年	音 楽	古川 裕介

(2) 指導計画表

科目名：音楽	学年：1	担当者名：古川 裕介 米谷 優*
<p>1. 指導目標</p> <p>①曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>②音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、よさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>③主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点と評価方法</p> <p>《評価観点》</p> <p>ア 知識・技能 イ 思考・判断・表現 ウ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>《評価方法》</p> <p>実技テスト・演奏発表・ワークシート・振り返りシート・授業の参加・授業への取り組み状況</p> <p>上に示す評価観点に基づいて、学習のまとめごとに評価する。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。</p> <p>3. 授業の方法・形式</p> <p>2人の担当者が別内容で授業を展開する。1年生では「まず、やってみよう」という精神で、様々な角度から音楽を捉え、音楽を学ぶことの楽しさを感じることができるよう工夫する。また、個人で音楽とじっくり向き合う時間と、グループで協働して音楽表現を創意工夫する時間両方を大切に授業を展開することで、思考力・判断力・表現力を高めていきたい。</p>	<p>4. 年間計画</p> <p><u>古川担当</u></p> <p>【歌唱】</p> <p>歌うための発声について～姿勢と呼吸から～</p> <p>《斉唱》</p> <p>「附中校歌」「浜辺の歌」「赤とんぼ」</p> <p>《重唱》(二重唱)</p> <p>木下 牧子作曲 『愛する歌』より</p> <p>「雪の街」「地球の仲間」</p> <p>《合唱》(混声三部合唱)</p> <p>「カリブ 夢の旅」「走る川」</p> <p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴィヴァルディ作曲「春」 ・シューベルト作曲「魔王」 <p>※生徒の実態に応じて、扱う曲目は変更する。</p> <p><u>米谷担当</u></p> <p>【楽典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音部記号について ・音符と休符について ・拍子記号について ・音名について <p>日本音名・ドイツ音名・イタリア音名 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音階について ～長調と短調～ <p>【ソルフェージュ (視唱・視奏・聴音・リズム)】</p> <p>＃♭1個までの調号の楽譜の視唱・視奏ができるように指導する。</p> <p>【器楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー <p>Lesson1 (左手による運指)</p> <p>Lesson2 (両手による運指)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムアンサンブル作品 <p>【創作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・My Melody メロディー創作への導入 	
<p>使用教科書：中学生の音楽1</p> <p>中学生の器楽 (教育芸術社)</p>		

科目名：音楽	学年：2	担当者名：藤原 愛香*
<p>1. 指導目標</p> <p>①曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>②曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>③主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点と評価方法</p> <p>《評価観点》</p> <p>ア 知識・技能 イ 思考・判断・表現 ウ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>《評価方法》</p> <p>実技テスト・演奏発表・ワークシート・振り返りシート・授業の参加・授業への取り組み状況 上に示す評価観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価する。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。</p> <p>3. 授業の方法・形式</p> <p>実技実習中心の授業を行い、演奏発表の機会を多く取り入れる。2年生では音楽表現に重点をおき「音楽という手段で伝える」ための工夫が自発的にできるよう指導する。個人の技能を高めるとともに、グループワークで闊達な意見交換を重ねることで音楽の多角的な捉え方ができるように支援していきたい。</p>		<p>4. 年間計画</p> <p>《音楽の基礎》 楽譜の読み方 リズムソルフェージュ</p> <p>《斉唱》 「にじ」 「花は咲く」</p> <p>《合唱》 「翼をください」 「時の旅人」 「青い鳥」</p> <p>《リズム・アンサンブル》 「やさいのきもち」 「ボディパーカッション」</p> <p>《鑑賞》 フォーレ「シシリエンヌ」</p> <p>《器楽》 アルトリコーダー： サミング・臨時記号の運指・リコーダーアンサンブル</p> <p>大正琴</p> <p>※生徒の実態に応じて、扱う曲目は変更する。</p>
使用教科書：中学生の音楽2・3上 2・3下 中学生の器楽（教育芸術社）		

科目名：音楽	学年：3	担当者名：古川 裕介
<p>1. 指導目標</p> <p>①曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>②曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>③主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み，音楽活動の楽しさを体験することを通して，音楽文化に親しむとともに，音楽によって生活を明るく豊かなものにし，音楽に親しんでいく態度を養う。</p> <p>2. 評価観点と評価方法</p> <p>《評価観点》</p> <p>ア 知識・技能 イ 思考・判断・表現 ウ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>《評価方法》</p> <p>実技テスト・演奏発表・ワークシート・振り返りシート・授業の参加・授業への取り組み状況 上に示す評価観点に基づいて，学習のまとめりごとに評価する。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。</p> <p>3. 授業の方法・形式</p> <p>実技実習中心の授業を行う。週1時間という限られた授業時数ではあるが，1・2年生での学習を生かし，生徒主体で練習を進める場面を多く取り入れる。音楽をチームで創りあげる喜びを体感できるように指導・支援する。</p>		<p>4. 年間計画</p> <p>年間通してソルフェージュを適宜取り入れる。 (視唱・視奏・聴音・リズム)</p> <p>1学期</p> <p>【歌唱】 「早春賦」 中田章 「夏の日の贈りもの」 加賀清孝 「海が明けるよ」 名取和彦</p> <p>【器楽】アルトリコーダー Lesson3 (サミング) Lesson4 (高い音・#やbの付く音) 最終課題 リコーダーアンサンブル作品</p> <p>【鑑賞】～楽器の音色に着目して～</p> <p>2学期</p> <p>【歌唱】混声四部合唱作品 【器楽】トーンチャイムアンサンブル 【創作】メロディー (単旋律) 創作</p> <p>3学期</p> <p>【歌唱】3年間の集大成～本格的な混声四部合唱～ 音楽会 学年合唱に向けて</p> <p>※生徒の実態に応じて，扱う曲目は変更する。</p>
使用教科書：中学生の音楽2・3上 2・3下 中学生の器楽 (教育芸術社)		